

誰もが働きやすい業界に

土木技術者女性の会九州支部

土木技術者女性の会九州支部(本田顕子支部長)は11月28日、「九州支部設立記念式典」を福岡市内で開いた。写真。支部会員らに加え、牛山育子会長や全国の支部長がウェブ会議システムで参加。同会で5番目となる支部の立ち上げを祝った。今後、会員の技術力向上や交流の場として活動を本格化し、誰もが働きやすい土木業界の環境づくりを目指す。

正会員25人 設立記念式典開く

九州支部の11月末現在の正会員は建設会社や行政機関、建設コンサルタント、教育機関に所属する25人。今後、支部会員間でコミュニケーションを深めながら活動内容を決めるとも



に、他支部との交流や情報発信に力を入れ、「九州での知名度を上げていく」(本田支部長) 考えた。

式典の冒頭、本田支部長は「支部としてさまざまなことにチャレンジしていきたい。私たちの活動が女性の働きやすさだけでなく、みんなが働きやすい環境づくりにつながっていくと信じて取り組んでいきたい」とあいさつした。

牛山会長は「(支部設立により) 女性土木技術者同士が知り合う機会も増え、支部活動の活性化はもちろん、会全体を支える大きな力になる」と期待を込めた。

北海道、東日本、中部、西日本の各支部長は「いろいろな女性がいろいろな地域で活躍されていることは大きな励みとなる」「多くの女性技術者が笑顔で仕事を続けられる世の中となるようお互いに協力し合い、活動できれば」などとお祝いを述べた。

同会顧問の山田邦博国土交通省技監(代読)は「ウイズコロナ、アフターコロナの社会でも九州の社会経済活動の回復を力強く支えていくため、建設業は大きな一翼を担うと期待している。支部の方々の活躍の場が広がるのではないかと祝辞を寄せた。

特別講演した同会の渡邊弘子前会長は九州支部に対して「気軽に話せる場の提供」を提案。女性であることをチャンスと捉え、将来世代のためにも職場環境の改善などに挑戦し、努力していこうと呼び掛けた。

同会は3月現在の会員数366人(うち学生会員22

人)。会誌(電子版)の発行や現場見学会の開催、学生を対象としたセミナーの開催など活発な活動を展開している。最近では同会が制作に協力した土木学習絵本「ドボジョママに聞く土木の世界」全10巻が「デミーとマツ土木広報大賞2020」の図書・雑誌部門の優秀賞を受賞した。

